



日本で唯一の海岸美化専門の団体です。

公益財団法人かながわ海岸美化財団

横須賀市多々良浜



公益財団法人かながわ海岸美化財団

住所 茅ヶ崎市汐見台 1-7 TEL 0467-87-5379 FAX 0467-87-5340
E-Mail info@bikazaidan.or.jp URL <https://www.bikazaidan.or.jp/>



公益財団法人かながわ海岸美化財団 概要

日本で唯一の海岸美化専門の団体です。

1991年に神奈川県と相模湾沿岸の13市町等によって設立。
150kmの自然海岸を年間通して清掃する他、美化啓発、美化団体
支援、調査研究を行う『日本で唯一の海岸美化専門の団体』です。

財団のpoint

01 海ごみ対策の先進的なモデルケース

県と市町が費用を負担し、財団が清掃を実施。行政区画を越えた一体的な清掃が実現。他に類を見ない、海ごみ対策の先進的なモデルケースとなっています。

財団のpoint

02 150kmの海岸ごみ状況毎週更新、清掃へ反映

毎週150kmの海岸を財団職員がパトロール。その結果を翌週以降の清掃に反映。ごみの現状把握とタイムリーな清掃がセットになっています。

財団のpoint

03 ボランティア清掃支援の仕組みが確立

ボランティアは、企業が協賛したごみ袋を使って、ごみを拾い、財団がそのごみを回収する、海岸美化のための三位一体の仕組みが確立されています。

財団のpoint

04 美化財団とボランティアの清掃が連動

美化財団は、清掃とボランティア支援の二つの機能を有しているため、美化財団の清掃とボランティアの清掃を連動させることができます。

●設立年月日：1991(平成3)年4月1日 ●基本財産：1,789,278,035円 ●役員員数：10名

●所在地 本部事務所：茅ヶ崎市汐見台1-7 / 横須賀三浦駐在事務所：三浦市南下浦町金田1624-4

●出捐団体

神奈川県 横須賀市 平塚市 鎌倉市 藤沢市 小田原市 茅ヶ崎市 逗子市 三浦市 葉山町 大磯町 二宮町 真鶴町 湯河原町
株式会社旭広告社 株式会社アルソア慧央グループ 大塚製薬株式会社 小田急電鉄株式会社 株式会社神奈川新聞社 キリンビール株式会社
京浜急行電鉄株式会社 相模鉄道株式会社 サッポロビール株式会社 JXTGエネルギー株式会社 株式会社商船三井 スルガ銀行株式会社
株式会社そごう・西武 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 宝酒造株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 東京ガス株式会社
東京電力ホールディングス株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三菱UFJニコス株式会社 日本たばこ産業株式会社
東日本電信電話株式会社 神奈川支店 株式会社美装 AIG損害保険株式会社 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 株式会社みずほ銀行
三井住友海上火災保険株式会社 株式会社横浜銀行 神奈川県農業協同組合中央会 生活協同組合ユーコープ 逗子仏教会
全国労働者共済生活協同組合連合会(順不同)

サポーター [会員] 募集

サポートすることが一番の海ごみ対策

あなたも財団をサポートすることで、一緒に海ごみ対策に取り組みませんか？

会員の種別・年会費

個人会員	1口1,000円～
法人・団体会員	1口10,000円～
特別法人・団体会員	10口100,000円～

会費の寄付金控除等について

個人会費 3口以上で寄付金控除の対象になります。※確定申告が必要です。
法人会費 寄付金の損金算入ができます。

会員のpoint

特別法人・団体会員のロゴは、財団のWebサイト、カレンダー、出版物等に掲載されます。

会員のpoint

財団へのサポートはSDGs(国連が定めた持続可能な開発目標)の目標のうち、12・14・17の取組みになります。

会員のpoint

年に1回「会員制度運営報告書」を送付。いただいた会費の使い道を報告します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



特別法人・団体会員 一覧 (2024年1月現在)



財団の4つの事業

04 調査研究事業

海岸ごみの発生源や組成等を調査

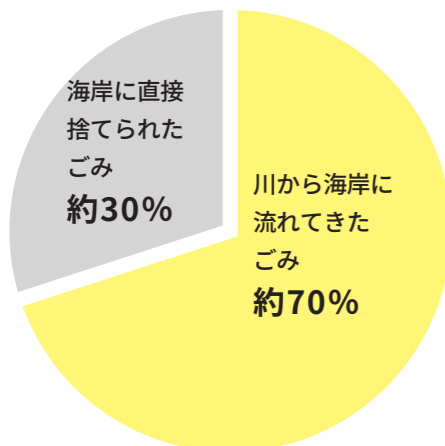
平均年間2,000トンに及ぶ海岸ごみの海岸別の量や発生源、組成等を経年調査しています。近年は特にプラスチックに焦点を当て、その割合も調査しています。



左の写真は、10m四方の海岸にある人工ごみを全て集めたもの。この組成を調査したところ、カンとビンは全体の約3割に過ぎず、全体の約6割はプラスチック、その半分はペットボトルが占めていました。

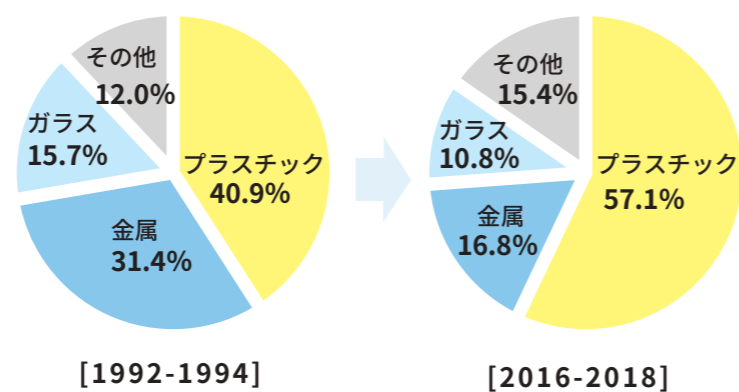
川から7割

海岸ごみの発生源を調査しています。海岸のごみのうち、海に遊びに来た人が捨てたものは全体の約3割に過ぎず、残りの約7割は、山や街や川原などから「川を通じて流れ出たごみ」であることがわかりました。



プラスチックが6割

海岸の人工ごみの組成を調査しています。28年前の3箇年の平均と直近の3箇年の平均を比較すると、金属やガラスの割合が減っている一方で、プラスチックの割合が1.4倍も増えていることがわかりました。



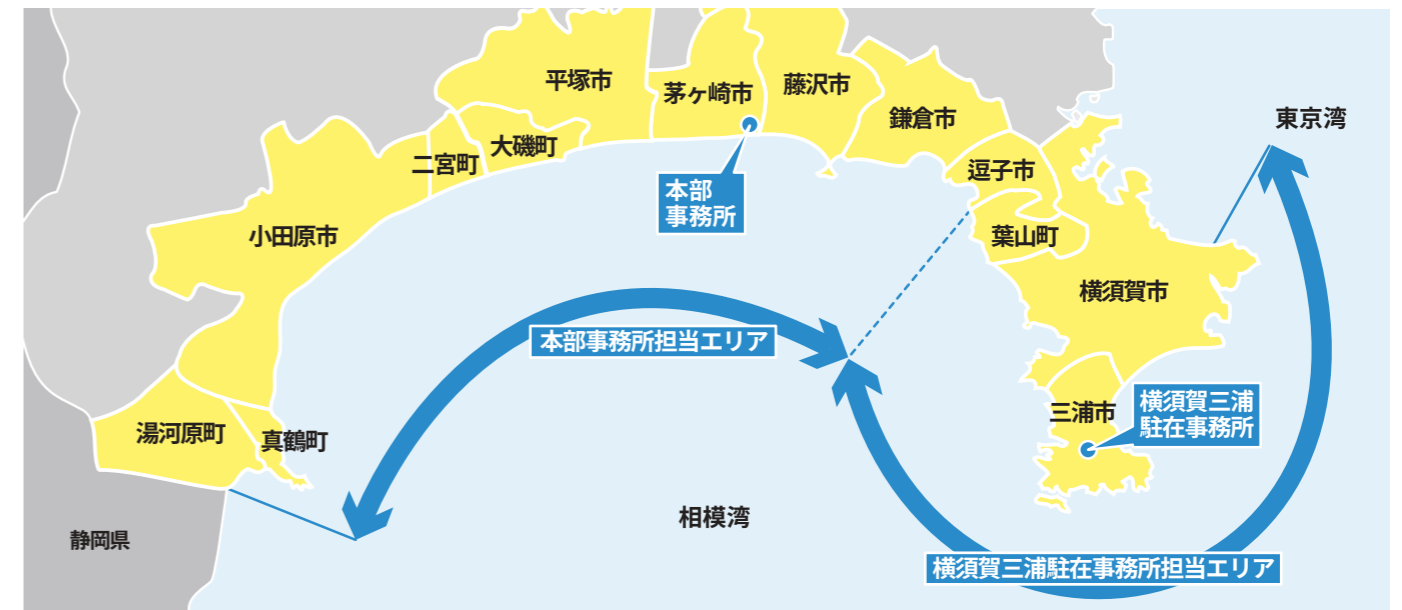
財団の4つの事業

01 海岸清掃事業

150 kmの海岸を毎年清掃

横須賀市走水海岸から湯河原町湯河原海岸までの150kmの自然海岸、河川河口部、海岸砂防林において行政区域を越えた一体的な清掃を年間通して実施しています。

2022実績 海岸ごみ回収量 合計:1,419トン (可燃:991トン 不燃:220トン 海藻:208トン)



台風が襲来すると、木くずなどの自然物にペットボトルなどのプラスチックごみが混入した大量のごみが海岸を埋め尽くします。

海岸パトロール

財団職員が、毎週150kmの海岸をパトロールし、最新のごみ状況を把握。同時に業者清掃の現場監督、直営清掃、ボランティアごみの回収なども行い、機動力のある対応を実施しています。



ビーチクリーナー

広範囲の海岸を短時間で清掃するために欠かせないのがビーチクリーナー。344本の金属製のピンが回転し、砂の中からごみだけをかき出し、回収します。



動画check! >



財団の4つの事業

02 美化啓発事業

学校・企業研修・イベント等で幅広く啓発

環境出前授業「学校キャラバン」、企業の環境貢献活動の受け入れ、春と秋の県下一斉のビーチクリーンアップの実施やイベントでのワークショップの開催など、幅広い啓発活動を展開しています。

2022実績	学校キャラバン	件数:75件 参加人数:3,814人
	企業の環境貢献活動等の受け入れ	件数:24件 参加人数:1,023人
	県下一斉のビーチクリーンアップ	(春)参加人数:7,666人 回収ごみ量:5,554kg (秋)参加人数:453人 回収ごみ量:755kg



学校キャラバン

学校の総合学習の時間を活用した出前授業「学校キャラバン」を展開。日々、海岸ごみに接している職員ならではの説得力のある講義と実習を実施しています。

企業研修等の受け入れ

企業の研修や環境貢献活動など、講義と清掃の組み合わせを各企業に合わせて最適な形にアレンジし、受け入れを行っています。



県下一斉のビーチクリーンアップの開催

県、市町、ボランティア団体、企業等の協力を得て、春は「ビーチクリーンアップかながわ」、秋は「国際海岸クリーンアップ」という県下一斉のビーチクリーンアップキャンペーンを開催しています。



なぎさのごみハンドブック

豊富な写真とイラストを使用して、子どもから大人まで分かりやすく海岸のごみについて解説しています。



ワークショップの開催

マイクロプラスチックを使ったインシヤルキーホルダーや万華鏡作りなどのワークショップも開催しています。



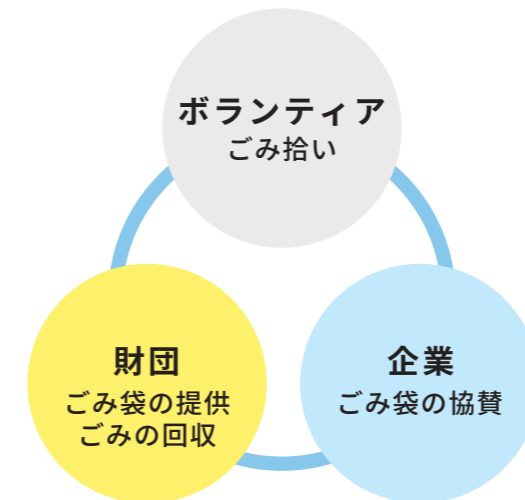
財団の4つの事業

03 美化団体支援事業

14万人のボランティアをサポート

年間14万人を超える海岸清掃ボランティアに対し、ごみ袋の提供とごみの回収を無償でサポート。このごみ袋はすべて企業からの協賛で賄われています。

2022実績 海岸清掃ボランティア参加人数 140,947人

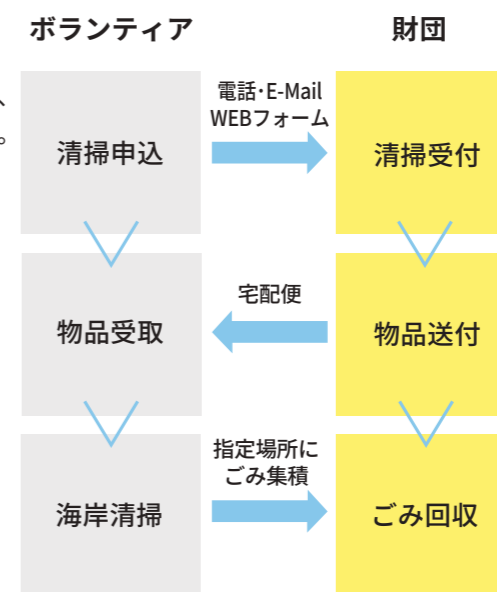


三位一体の仕組み

ボランティアは、企業が協賛したごみ袋を使って、ごみを拾い、財団がそのごみを回収する。「ボランティア」「企業」「財団」三者が海岸美化のために、それぞれできることで連携する三位一体の仕組みが確立されています。

14万人のヒミツ お手軽にビーチクリーンできる仕組み

ビーチクリーンしたい方は財団へ一本連絡すればOK。あとは、財団から送られてきたごみ袋を使ってビーチクリーンをし、指定の場所にごみを集積しておくだけ。そのごみは後日、財団が回収します。事前の団体登録や計画書の提出、実施後の報告等の煩わしい手続きは一切必要なく、手軽にビーチクリーンできる仕組みになっています。



イベントをサポート

海岸で行われているビーチクリーンイベントで集められたごみの回収は、すべて財団が行っています。神奈川県で大規模なビーチクリーンイベントが開催されるは、見えないところで財団がしっかりとサポートしているからです。

